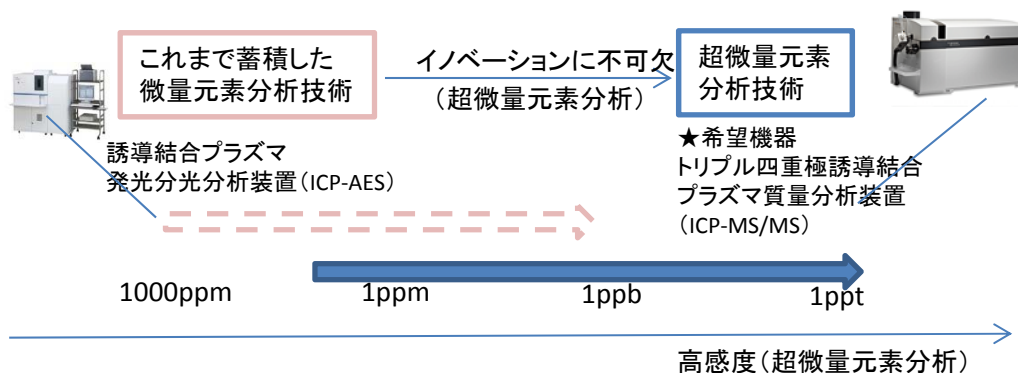


利用目的、用途

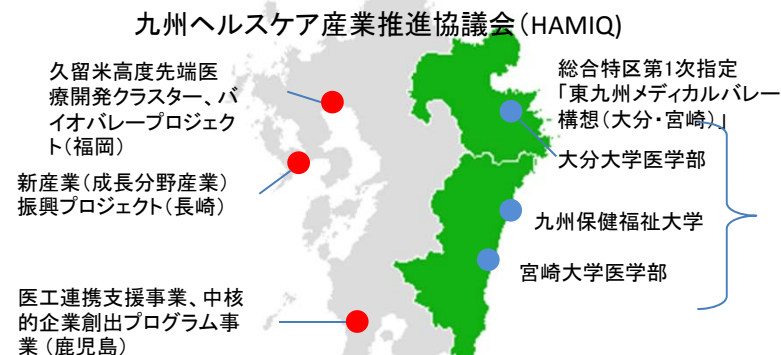
- 利用目的
溶液中における超微量濃度の高精度に元素分析。
- 用途
 - ・血管や血液に関連する医療機器の研究開発など。
 - ・血管や血液に関連する医療機器の製造品質の管理など。
 - ・臨床試料における全血・血清・尿中の微量元素分析による疾病診断など。
 - ・その他、医療系溶液に対する高精度・超微量分析など。
 - ・医療製品内における微量金属元素の分析など。



ターゲットとする業種

医療機器関連や体外診断薬研究開発などの業種

注力分野の広域ネットワーク



具体的な利活用方法

- ・ HAMIQで今年度新しく構築する「医療機器等・事業化促進プラットフォーム」に大学等研究機関として非臨床試験などの支援プラットフォームの一員として登録。
- ・ HAMIQの九州全県に跨る医療機器・福祉リハビリ機器開発の参入企業に存在を周知でき活用を広まる (会員240機関：製造業80社、サービス業80社)。

期待される効果

- ・ 本機器の配置により、超微量元素分析が可能になり、血液や血管・人工透析などの血液関連の研究開発や医療機器開発の促進が期待できる。
- ・ 将来的には、開発された製品による人工透析患者のQOL向上への寄与が期待できる。さらに、体外診断薬や医薬品等の開発・品質向上にも貢献でき、開発された医薬品等による疾病の早期診断・予防などが可能となる。

設備構成

